

<p align="center">アントレプレナーシップ修了論文演習 II Advanced Seminar on Entrepreneurship II</p>	<p>(教員名) 新藤 晴臣、近 勝彦、小関 珠音</p>	
<p>アントレプレナーシップ研究分野 探究科目</p>	<p align="center">演習科目</p>	<p align="center">必修</p>
	<p align="center">2 単位</p>	<p align="center">2018 年度・後期</p>
<p>I 科目の主題 アントレプレナーシップ修了論文演習 II ではアントレプレナーシップ修了論文演習 I での研究を進展させ、修了論文として完成させるための研究指導を行う。</p>		
<p>II 授業の到達目標 論文を作成する学生は、修了論文演習 II において、事実認識に基づく論理的思考力、問題解明に向けた論理的展開力の向上を図るとともに、対外的な説得力を有する論文を目指し、調査・分析に基づく実証能力や文章表現力を高めることを目的とする。 事業計画書等を作成する学生は、修了論文演習 II において、事業計画書または創業支援企画書の実現可能性を高め、対外的な説得力を有する成果物とすべく、完成度の向上を目指す。</p>		
<p>III 授業内容・授業計画 学生は指導教員別のゼミに所属し、個別指導により報告や検討を重ねる。 論文作成者は、前期末に提出した研究計画書に従い、資料やデータを踏まえた論文の実証性や論理構成の適切性、表現の的確性等に留意し、完成度の向上を図る。作成した論文は要旨とともに、所定の期日までに提出する。 事業計画書作成者は、前期末に提出した研究計画書に従い、事業スキームや競争優位性を確立する具体的な方策、事業の経済性、リスクへの対応等の諸課題に留意し、完成度の向上を図る。作成した事業計画書等は、事業計画書等の概要、作成過程を通じて学んだ点や作成した事業計画書等に対する自己評価等をまとめた文書とともに、所定の期日までに提出する。</p>		
<p>IV 事前・事後の学習内容 アントレプレナーシップ修了論文演習 I の履修を必須とする。 自らが前期末に定めた研究計画書に基づき、進捗状況や日程を考慮して、積極的に研究に取り組むことがことが望まれる。</p>		
<p>V 評価方法 平常点ならびに提出された修了論文から評価する。平常点については、ゼミへの出席、報告・発表内容の改善努力等の観点から、修了論文については、論理的妥当性、客観性、構想力、展開力、説得力の向上度、検討の深度、表現上の工夫等の観点から、それぞれ 50 点満点で評価を行う。</p>		
<p>VI 受講生へのコメント 自律的な進捗管理が必須である。</p>		
<p>VII 教材 特になし。</p>		